

## No.3 わらいばなし

### ねずみの小話（こばなし）

今年はねずみ年。ねずみをつかまえた人と見た人が言いあらそっています。

「おい、ネズミをつかまえた。大きなネズミだ。」

「なんでえ、ちっとも大きくねえじゃあねえか、こんなの、小せえよ。」

「いいや、大きい。」

「小さい。」

「大きい。」

「小さい。」

「大きい。」

「小さい。」

すると、ねずみが一声（ひとこえ）、

「チュウ」



（せつめい）

これは、小話（こばなし）といわれているもので、二人の会話からできています。この会話の何がおもしろいのでしょうか。

「大きい」「小さい」と大きさを言い合っているとき、タイミングよくねずみが「チュウ（中）くらい」と言った（鳴いた）。

このお話を声に出してよんでみると、おかしさがとてもよくわかります。